

# 2021年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社 ホーブ  
 コード番号 1382 URL <https://hob.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 政場 秀  
 (氏名) 馬場 文秀  
 TEL 0166-83-3555

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年6月期第1四半期の連結業績(2020年7月1日～2020年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	496	4.7	30		29		29	
2020年6月期第1四半期	520	8.3	22		22		21	

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 29百万円 ( %) 2020年6月期第1四半期 21百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	38.49	
2020年6月期第1四半期	28.76	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第1四半期	708	439	62.0	576.66
2020年6月期	970	468	48.3	615.04

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 439百万円 2020年6月期 468百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		0.00	0.00
2021年6月期					
2021年6月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,821	18.0	77	216.0	77	206.6	65	184.7	85.73
通期	3,714	15.0	102	319.6	102	282.7	84	190.5	110.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年6月期1Q	762,000 株	2020年6月期	762,000 株
------------	-----------	----------	-----------

期末自己株式数

2021年6月期1Q	213 株	2020年6月期	213 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年6月期1Q	761,787 株	2020年6月期1Q	761,787 株
------------	-----------	------------	-----------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により企業収益や雇用環境が大幅に悪化し、厳しい環境が続きました。未だにその収束時期は見通せておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、自社いちご品種「夏瑞／なつみずき」（品種登録名「ペチカほのか」）を中心に、いちご果実及びその他青果物の販売に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高496,190千円（前年同期比4.7%減少）、営業損失30,966千円（前年同期は営業損失22,507千円）、経常損失29,645千円（前年同期は経常損失22,378千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失29,320千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失21,911千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (いちご果実・青果事業)

いちご果実・青果事業の主力商品は業務用いちご果実であります。当期間におけるいちご果実販売は、主に自社品種「夏瑞／なつみずき」（品種登録名「ペチカほのか」）、「コア」（品種登録名「ペチカエバー」）と国産他品種、輸入いちごを併用しております。

「夏瑞／なつみずき」については、今年より百貨店等の生食向けギフト販売に取り組み、業務用としては販売エリアおよび販売店舗が拡大するなど、年々認知度が高まり、その価値も向上してきております。

一方で、当第1四半期連結累計期間におきましては、6～7月にかけて曇天、低温が続いたことで、自社品種いちごの生育が停滞気味となりました。例年であれば7月下旬に自社品種の出荷量のピークを迎え、8月中旬以降に出荷量が減少傾向となりますが、出荷のピークがずれこむなど、例年にない出荷の流れとなりました。他品種も同様の傾向で、想定していない時期に出荷数量が増加したことに加え、新型コロナウイルス感染症の再拡大による需要減少の影響も重なり、第1四半期を通じて販売に苦戦いたしました。

その他の青果物におきましては、コンビニエンスストアをはじめとした既存取引先において、フルーツを使用したアイテムの減少に伴い使用量が減少したため、売上高、利益ともに前年同期を下回りました。

また、業務の効率化による経費削減に努めてまいりましたが、利益の減少分を補うには至りませんでした。

この結果、いちご果実・青果事業の売上高は464,263千円（前年同期比4.8%減少）、営業利益は21,626千円（前年同期比20.8%減少）となりました。

## (種苗事業)

種苗事業は、自社品種の「ペチカほのか」（商品名「夏瑞／なつみずき」）と「ペチカエバー」（商品名「コア」）の種苗を生産販売しております。栽培方法には、秋に苗を定植し翌年春から秋にかけて果実を生産する秋定植と、春に苗を定植し夏から秋にかけて果実を生産する春定植の、概ね2体系の作型があります。当第1四半期連結累計期間におきましては、秋定植用苗を販売しております。

新規に栽培を始める生産者があったことで種苗の販売本数が増加し、種苗売上高は増加いたしました。前期にあった栽培指導受託に関わる収益が当期は発生しなかったため、売上高、利益ともに前年同期を下回りました。

この結果、種苗事業の売上高は3,299千円（前年同期比16.8%減少）、営業損失は837千円（前年同期は営業利益1,149千円）となりました。

## (馬鈴薯事業)

馬鈴薯事業は、主に種馬鈴薯の生産販売、仕入販売と、青果馬鈴薯の仕入販売からなります。主要売上品である種馬鈴薯には、秋から春にかけて販売する春作と夏に販売する秋作の2体系がありますが、そのメインは春作種馬鈴薯です。当第1四半期連結累計期間におきましては、主に秋作種馬鈴薯の販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、熊本、青森などの種馬鈴薯の生産地が洪水や大雨の被害を受けたために、供給不足となり、販売数量を確保することができませんでした。このため、売上高は前年同期を下回りましたが、販売価格を考慮した仕入れを行ったことで粗利益は微減にとどまりました。さらに経費削減に努めたことで損失は縮小いたしました。

この結果、馬鈴薯事業の売上高は5,753千円（前年同期比40.2%減少）、営業損失は3,194千円（前年同期は営業損失5,626千円）となりました。

## (運送事業)

運送事業は、株式会社エス・ロジスティックスが行っております。関東圏を中心とした事業展開で、当社の商品配送を中核として、一般荷主からの配送業務受託も行っております。当第1四半期連結累計期間におきましては、一般荷主からの売上高の増加がありましたが、人員確保による人件費の増加等により、利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、運送事業の売上高は22,875千円（前年同期比16.3%増加）営業損失2,494千円（前年同期は営業損失1,697千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して263,355千円減少し、当第1四半期連結会計期間末で600,006千円となりました。これは現金及び預金、たな卸資産が増加したものの、売掛金が減少したことが主因であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,380千円増加し、当第1四半期連結会計期間末で108,634千円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して226,278千円減少し、当第1四半期連結会計期間末で142,337千円となりました。これは買掛金、短期借入金が減少したことが主因であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比較して6,465千円減少し、当第1四半期連結会計期間末で127,008千円となりました。これは長期借入金、退職給付に係る負債、役員退職慰労引当金が減少したことが主因であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して29,231千円減少し、439,295千円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の48.3%から62.0%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業においては、第2四半期連結会計期間に主力商品の最需要期を迎えることから、第2四半期連結会計期間に売上高・売上総利益が偏る傾向があり、現時点で連結業績予想を見直す状況に至っていないため、2020年8月6日の「2020年6月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。ただし、今後、業績予想に変更が生じた場合には必要に応じて見直しを行います。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	265,468	413,946
売掛金	543,211	131,413
たな卸資産	46,515	47,352
その他	8,701	7,737
貸倒引当金	△535	△443
流動資産合計	863,362	600,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,988	8,773
機械装置及び運搬具(純額)	6,855	5,975
土地	37,400	37,400
その他(純額)	1,529	2,103
有形固定資産合計	54,773	54,251
投資その他の資産		
その他	54,178	56,080
貸倒引当金	△1,697	△1,697
投資その他の資産合計	52,480	54,382
固定資産合計	107,253	108,634
資産合計	970,616	708,640
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	98,758	62,478
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	13,008	13,008
未払法人税等	5,856	1,494
賞与引当金	—	5,200
その他	50,992	60,155
流動負債合計	368,615	142,337
固定負債		
長期借入金	9,716	6,464
退職給付に係る負債	38,007	36,651
役員退職慰労引当金	82,605	80,745
その他	3,145	3,148
固定負債合計	133,473	127,008
負債合計	502,088	269,345

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	432,250	432,250
利益剰余金	△384,396	△413,716
自己株式	△233	△233
株主資本合計	468,870	439,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△343	△254
その他の包括利益累計額合計	△343	△254
純資産合計	468,527	439,295
負債純資産合計	970,616	708,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	520,810	496,190
売上原価	391,942	383,057
売上総利益	128,867	113,132
販売費及び一般管理費	151,375	144,099
営業損失(△)	△22,507	△30,966
営業外収益		
受取利息	2	1
貸倒引当金戻入額	25	91
助成金収入	—	1,174
その他	138	124
営業外収益合計	166	1,392
営業外費用		
支払利息	37	30
その他	0	40
営業外費用合計	37	70
経常損失(△)	△22,378	△29,645
特別利益		
固定資産売却益	408	—
特別利益合計	408	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,970	△29,645
法人税等	△59	△325
四半期純損失(△)	△21,911	△29,320
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,911	△29,320

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△21,911	△29,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	88
その他の包括利益合計	△19	88
四半期包括利益	△21,930	△29,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,930	△29,231
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。